2010年3月期

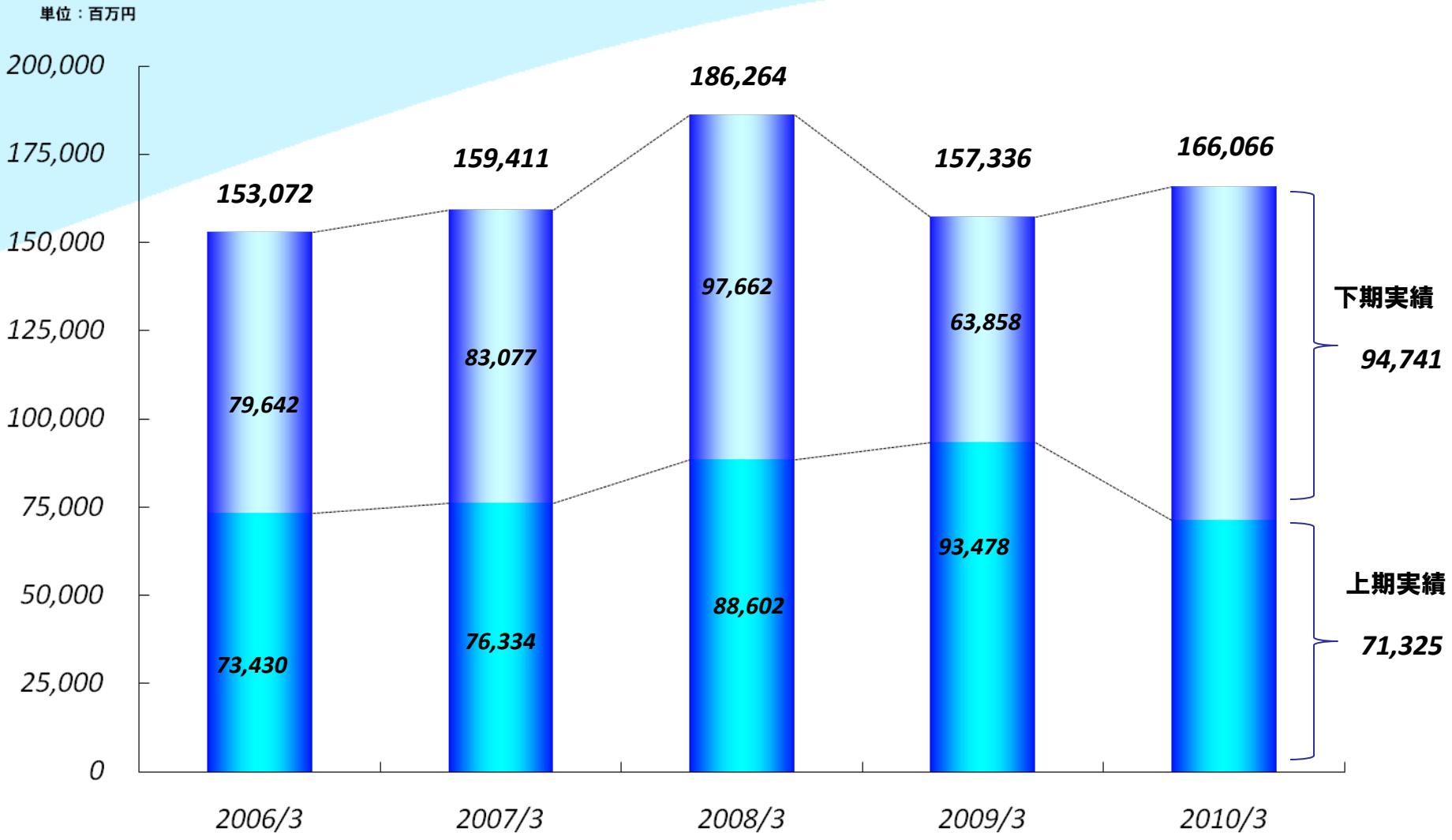
決算説明会資料

KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

黒田電気株式会社
取締役 代表執行役社長
金子　孝

Copyright©2010kurodaElectricCo.,Ltd.AllRightsReserved.

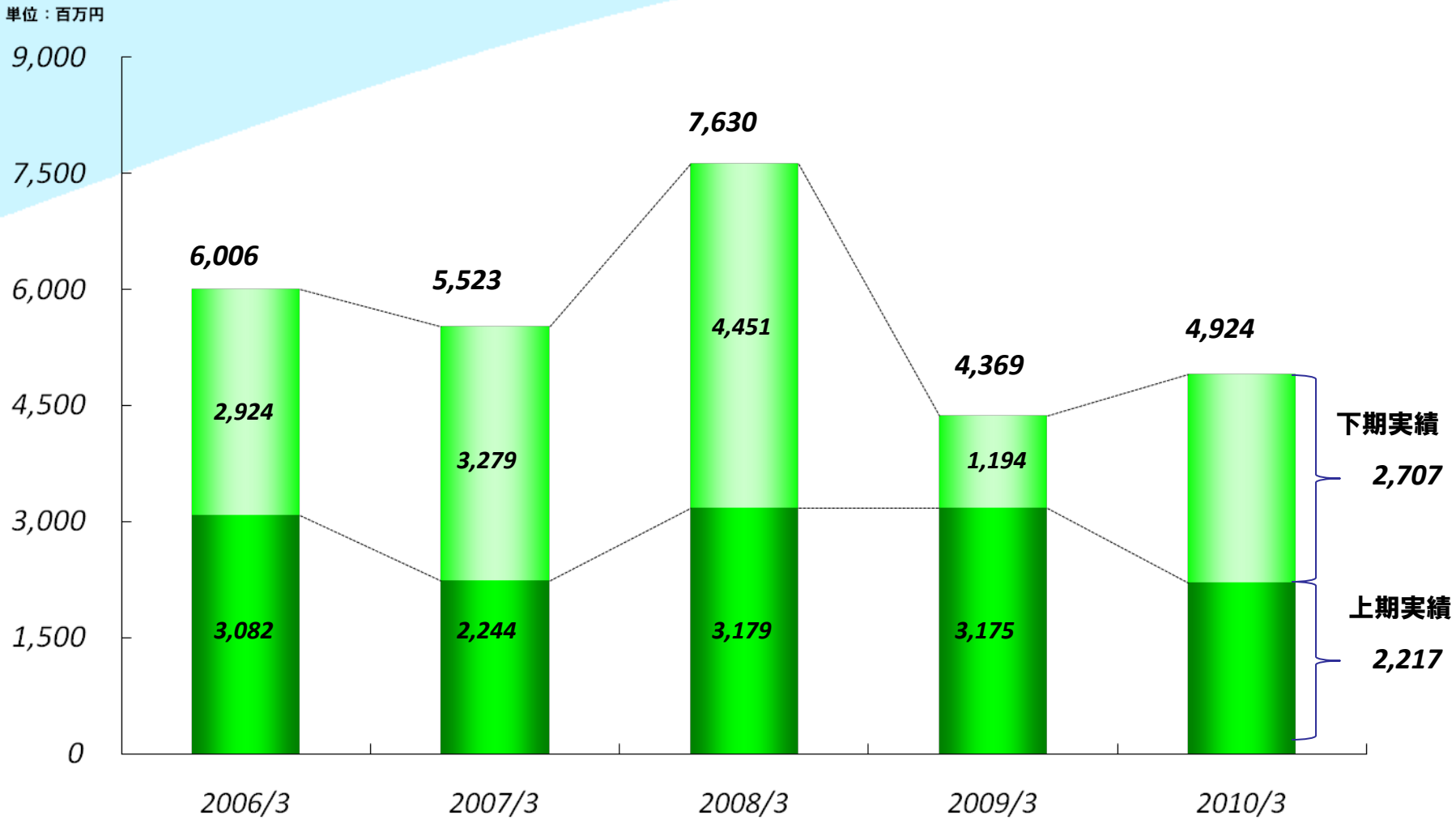
連結売上高推移



Copyright©2010kurodaElectricCo.,Ltd.AllRightsReserved.

黒田電気株式会社
KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

連結営業利益推移



Copyright©2010kurodaElectricCo.,Ltd.AllRightsReserved.

黒田電気株式会社
KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

FY2010/3　概況

年間	決算業績（連結）	トピックス
売上高	*166,066*百万円 （前年比：105.5%）	■ エコ関連特需によりLEDﾊﾞｯｸﾗｲﾄTVの部材関連の需要が旺盛 ■ 自動車関連は、ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄｶｰ用基板、ETC特需により堅調に推移
販管費	*14,726*百万円 （前年比：101.1%）	■ 売上高の増加に伴い、変動費（物流費）の増加があったものの、構造改革による経費削減の効果により、一定範囲内で収まる。 ■ 第3四半期より、海外生産用部材の出荷増加により、海外輸送費増加
営業利益	*4,924*百万円 （前年比：112.7%）	■ 販管費削減の効果により営業利益率は向上 ■ 営業利益率　3.0%（前年実績　2.8%）
経常利益	*5,003*百万円 （前年比：110.3%）	■ 営業外収益　321百万円 ■ 営業外損益　242百万円　:為替差損　37百万円
当期純利益	*2,803*百万円 （前年比：121.0%）	■ 特別損失　290百円:固定資産除却損　181百万円、生産委託整理損　70百万円

次期見込み	
	売上高：*188,000*百万円　　営業利益：*6,500*百万円 経常利益：*6,500*百万円　　当期純利益：*3,800*百万円（年間配当 29円：1円増配予定）
	FPD関連部材の売上拡大、太陽電池半田付け装置販売、HDD市場の旺盛な需要、自動車関連の堅調な伸び 新興国進出に布石を打ち、ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｻﾌﾟﾗｲﾔｰとしての地位を確立し事業拡大をより強固にする

Copyright©2010kurodaElectricCo.,Ltd.AllRightsReserved.

黒田電気株式会社
KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

構造改革の効果

期初の目標：前年比10億円の連結販管費削減

2009年3月期　14,560百万円（連結販管費実績）

↓

2010年3月期　14,726百万円（連結販管費実績）

＋166百万円

日動電工の子会社化による販管費増加（約8億円）、
売上増及び緊急出荷に対する変動費の増加（約9億円）

約15億円の削減効果

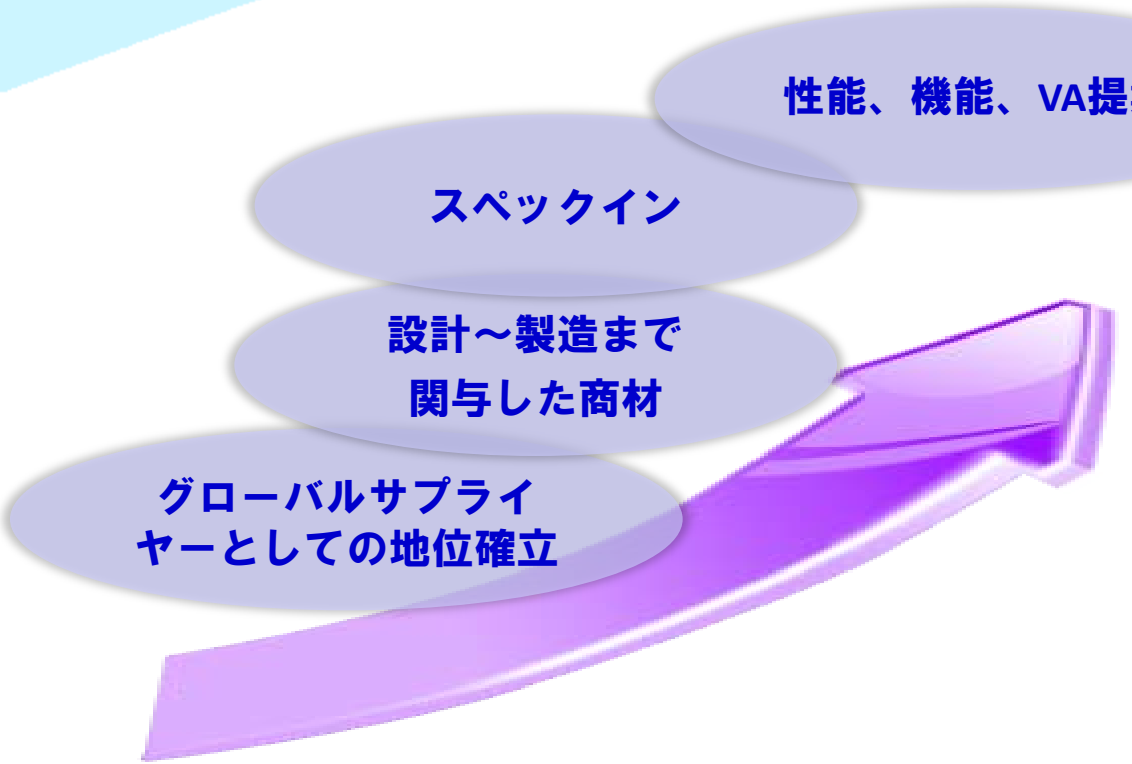
販管費削減額（前年比）	
物流固定費	5.7億円
人件費	5.7億円
賃借料他	4.1億円
合計	15.6億円

Copyright©2010kurodaElectricCo.,Ltd.AllRightsReserved.

＝　今後の取組み　＝

FPD事業

顧客の設計業務を一部請負い量産品の納入までフルサポート体制の確立



売上高の拡大
輸送効率UP
（収益性の向上）

省エネ・3D化、薄型、高機能、高速、新興国での需要

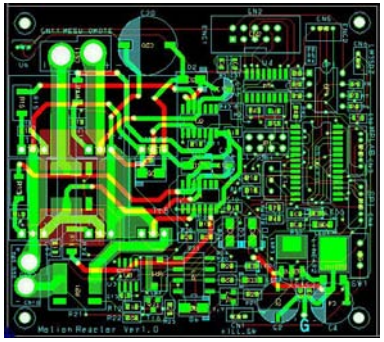
TV市場の追風

黒田電気株式会社
KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

Copyright©2010kurodaElectricCo.,Ltd.AllRightsReserved.

車載事業

省エネ・安全対策等



- エコカーを中心に堅調に推移
- グループ内の力を結集しシステム開発他、
  回路設計から量産基板まで一貫した対応
  （ソーワ・ソフィア・黒田電気）



自動車生産　海外シフト

- 顧客の生産地近隣にストックポイントを設けフォロー体制の充実
  （World-Wideでフォロー）

Copyright©2010kurodaElectricCo.,Ltd.AllRightsReserved.

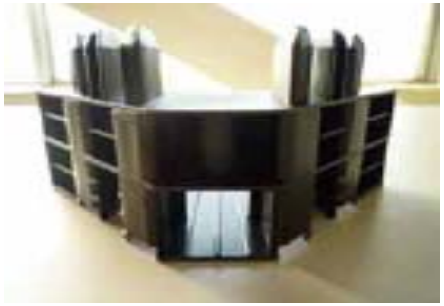
黒田電気株式会社
KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

太陽電池関連ビジネス

自動電極半田付け装置



梱包資材



セラソルザ



リボン



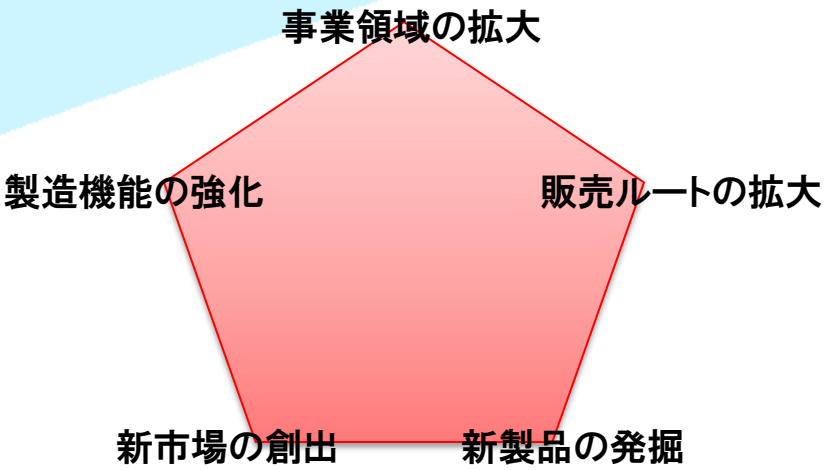
黒田テクノの固有技術を活かした超音波半田付け装置を積極的にPR（顧客拡大）
装置版販売後は、サプライ品（セラソルザ・電極用リボン等）の販売増

Copyright©2010kurodaElectricCo.,Ltd.AllRightsReserved.

黒田電気株式会社
KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

グループ経営の強化

■ 関係子会社間の情報を共有し新たな製品をテーマアップ



グループ経営による企業価値向上



ソーワ・ソフィアのシステム開発力を軸として関係子会社にて保有している技術を融合
ユニークで高付加価値な製品を市場に投入

<u>企業価値向上＝グループ内のリソースを有効に活用し収益性を向上させる</u>

Copyright©2010kurodaElectricCo.,Ltd.AllRightsReserved.

黒田電気株式会社
KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

グローバル事業展開

成長市場（特にＢＩＩＣｓ）に対し事業戦略の再構築、そして拠点展開を積極的に行う。

- 優良外国企業との取引
- ＯＥＭ、ＯＤＭ先との取引
- 各国別のエリア戦略
- 積極的な投資

中国

①液晶関連ビジネス
②ＥＭＳ関連ビジネス
③情報通信関連ビジネス

インド

①車載関連ビジネス
②家電ビジネス
③グローバル企業開拓

インドネシア

①車載関連ビジネス
②電気機器ビジネス
※積極的な事業の再構築

ブラジル

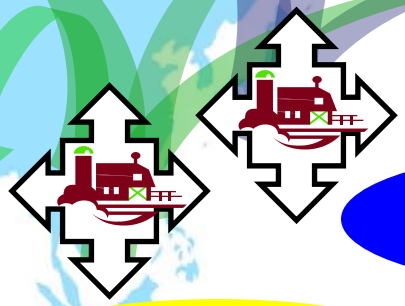
①車載関連ビジネス
②液晶関連ビジネス
※検討中

Copyright©2010kurodaElectricCo.,Ltd.AllRightsReserved.

黒田電気株式会社
KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

物流力を高め収益性を向上

グローバルビジネスが加速する状況下、新興国・欧米市場への供給体制を強化し、コスト・品質・機能を追求し、収益性の向上を目指す。



成田LC（既設）
（国内HUB倉庫）

中国/南アジア
HUB倉庫

バリューチェーンの現地化
新興国の市場拡大
地産地消、低コスト対応

① グローバルサプライヤーとして効率的な物流網を構築する。
② OUT-OUT商流の強化として、中国・アジア地区にハブ倉庫新設を検討する。
③ 大手物流会社と協業し、グローバル物流ネットワークを構築する。

Copyright©2010kurodaElectricCo.,Ltd.AllRightsReserved.

黒田電気株式会社
KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

CSR/環境保護への取り組み



継続中

ISO9001-14001 黒田電気グループのグローバル統合ISO

2009年9月に取得したグローバル統合ＩＳＯ認証により、当社は
品質と環境の両側面から、黒田電気グループ全体の方向性を統一し、
今後さらにグローバルな視野で積極的な取組みを行ってまいります。



かけがえのない地球のために ⇒ 地球環境貢献活動：企業の森

青梅市に続き、関西地区においても企業の森の活動を検討中

新たな取組み



・次世代を担う子供たちに今、出来ること・・・

黒田電気が進出している地域において、教育に恵まれない子供たちが平等に教育を受けられる環境が整うよう、支援する。









Copyright©2010kurodaElectricCo.,Ltd.AllRightsReserved.

黒田電気株式会社
KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

End of File

Copyright©2010kurodaElectricCo.,Ltd.AllRightsReserved.